

施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート

作業区分	加温シーズン終了後又は加温シーズン前に	マニュアル掲載頁
暖房機の点検	○暖房機の熱交換面（缶体）の清掃をしましたか。	4頁
	○バーナーノズル周辺（ディフューザー周辺）の清掃をしましたか。	5頁
	○定期的なバーナーノズルの交換をしましたか。	6頁
	○エアーシャッターで空気量の調整をしましたか。	6頁

作業区分	加温シーズン入りしてから	マニュアル掲載頁
適温管理のための点検	○暖房装置の設定温度と実際の温度にずれがないか確認しましたか。	12頁
	○作物の適温を確認して温度設定しましたか。	8頁
	○暖房装置の温度センサーは、適正な位置に設置されていますか。	12頁
	○ハウス内に温度ムラはありませんか。	20頁
	○変温管理を行っていますか。	22頁
	○送風ダクトが適切な本数や配置になっていますか。	20頁
	○天敵資材や花粉媒介昆虫の活動適温を確認しましたか。	11頁

チェック時期： 年 月～ 年 月

所 属：

住 所：

氏 名：

温室番号：	栽培作物：	加温面積：	a、m ₂
夜間設定温度（変温管理していない場合）： °C			
変温管理している場合の設定温度	昼間時間帯：	°C	転流時間帯：
	夜間時間帯：	°C	早朝時間帯：
外張被覆：	重	内張被覆：	層
加温時期： 年 月から 年 月まで			

《記入にあたって・・・》

- 所属（〇〇部会、△△法人）、住所、氏名は必ず記入しましょう。
- 加温開始、終了時期も必ず記入しましょう。
- 設定温度については、右上の欄又は一番下の月別の欄のいずれかに記入して下さい。
- 確認や作業を実施したら、忘れないうちにチェックしましょう。（○、×、✓、日付など）
- 各チェック項目の解説は、「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル」に掲載しておりますので参考にしてください。
- 一番下の燃料の購入量又は使用量については、伝票等を基に把握できるものを記載しましょう。前年度の結果と比較して省エネルギー対策の参考としましょう。
- 水色の色付き項目については、必ず実践しましょう。
- チェック項目の空欄については、必要に応じて自由に設定してください。

作業区分	点検頻度目安	チェック項目	マニュアル掲載頁	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			備 考			
				上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬				
保温性確保のための点検	随時	○被覆資材は汚れていませんか。	13頁																									
		○外張被覆資材及び天窓、側窓、施設の入口に破れや隙間はありませんか。																										
		○被覆資材留具に緩みはないですか。																										
		○温室内外に採光を妨げるようなものを置いていませんか。																										
	加温期に数回	○																										
		○内張カーテンに破れはありませんか。	15頁																									
		○内張カーテンのつなぎ目、軒部カーテンのつなぎ目に隙間はありませんか。	15頁																									
		○内張カーテンのすそ部に隙間はありませんか。（特に夜間、暖房装置の稼働時）	17頁																									
		○内張カーテンの開閉は、日長（日の出・日の入り時刻）に応じて調節していますか。	18頁																									
	加温期に1回	○																										
		○内張カーテンを設置していますか。	14頁																									
		○内張カーテンは多層化していますか。	14頁																									
		○換気扇のシャッター隙間に目張をしていますか。	13頁																									
○マルチを利用していますか。		22頁																										
	○																											
	燃料の購入量又は使用量 (L)	当年度																							合計	L		
	燃料の購入量又は使用量 (L)	前年度																							合計	L		
	夜間設定温度°C	当年度																										
	夜間設定温度°C	前年度																										

省エネルギー対策を実践して、地球温暖化を防止しましょう。